

令和4年度 南会津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
取り組み結果

町では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国の地球温暖化対策に即して、平成30年12月に「南会津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。

この計画は、町の事務事業に関して、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取り組みを推進し、温室効果ガス排出量の削減を目的としています。

また、その実施状況を点検して公表することで、町民や町内事業者の意識高揚につなげ、地球温暖化対策を地域から積極的に推進していくことを目指しています。

なお、この取り組みは、上位計画である第2次南会津町環境基本計画の環境指標にも位置付けられています。

●取組期間／平成30(2018)年度～令和12(2030)年度(13年間)

●対象範囲／町の事務事業(庁舎、小中学校等の教育施設、保健センター等の福祉施設、御蔵入交流館等の文化施設、上下水道施設、その他施設や公用車の使用等に係る事務)
※指定管理者の事務事業は対象外です。

●基準年度／平成28年度 ●対象温室効果ガス／二酸化炭素(CO₂)

●温室効果ガスの削減目標

基準年度排出量 平成28年度	削減目標	目標年度排出量 令和12年度
3,923.6t-CO ₂ (3,923,628 kg-CO ₂)	26%	2,903t-CO ₂ (2,903,000 kg-CO ₂)

① 取り組みの実績

令和4年度の温室効果ガス総排出量は、**3,226.6t-CO₂**であり、基準年度から697.0t-CO₂(17.8%)削減できました。また、前年度(令和3年度)からは、110.8t-CO₂(3.3%)の削減となりました。

排出量減少の主な要因は次のとおりです。なお、エネルギー種別の使用量やCO₂排出量は表のとおりです。

○基準年度から減少した主な要因

- ◇各施設での再生可能エネルギーの導入や、水道施設でのICTを利用した維持管理等により電気使用量を削減できたため。
- ◇新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが激減したこと及び会議がリモート等により開催されるようになったことに伴い、公用車の使用頻度が減少したため。
- ◇施設を統廃合したため。
- ◇降雪量の減少により、除雪車輛の稼働が減っているため。

【エネルギー使用量・CO₂ 排出量】

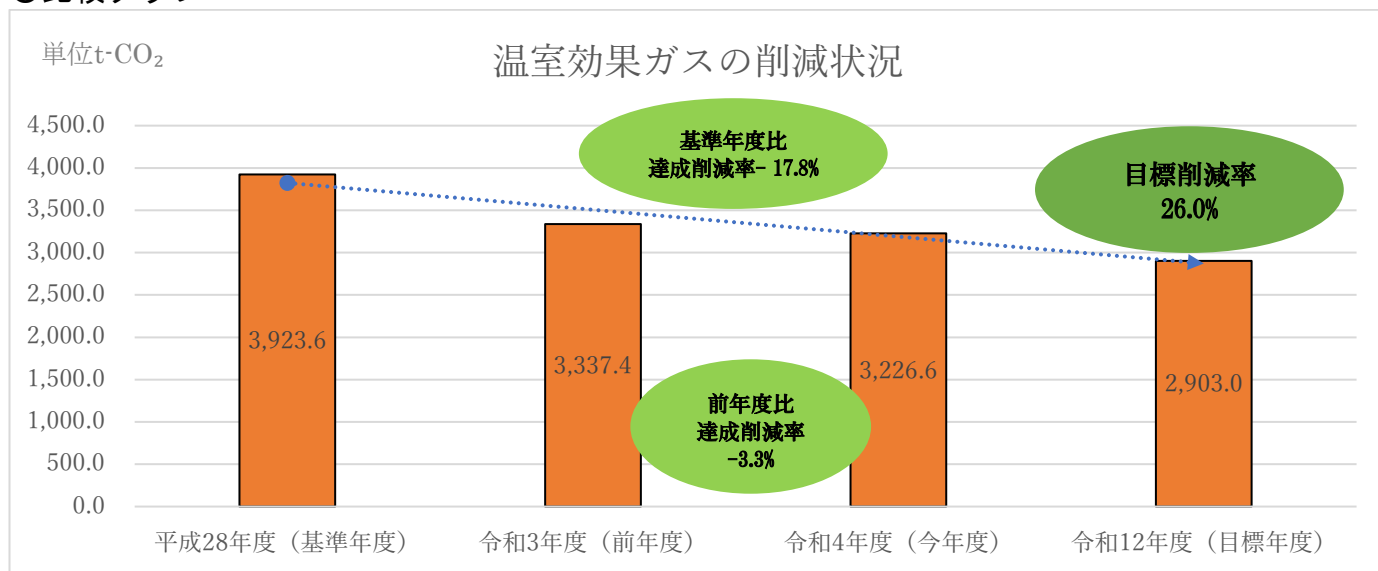
○基準年度比較

燃料種別	平成 28 年度(基準年度)		令和4年度		CO ₂ 増減量 (基準年度比) (kg-CO ₂)	CO ₂ 増減率 (基準年度比)	令和 12 年度 目標値 (kg-CO ₂)
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)			
ガソリン(ℓ)	63,362.5	147,204.8	45,616.6	105,830.5	-41,374.3	-28.1%	基準年度比 -26%削減
灯油(ℓ)	242,335.6	603,415.8	206,548.7	514,306.3	-89,109.5	-14.8%	
軽油(ℓ)	111,943.7	288,814.6	69,360.6	178,950.3	-109,864.3	-38.0%	
A 重油(ℓ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	
LPG(m ³)	10,747.6	70,396.5	6,923.2	45,347.0	-25,049.5	-35.6%	
電気(kWh)	4,859,751.3	2,813,796.0	4,624,327.5	2,382,156.7	-431,639.3	-15.3%	
合 計		3,923,627.7		3,226,590.8	-697,036.9	-17.8%	2,903,000.0
		3,923.6t-CO ₂		3,226.6t-CO ₂	-697.0t-CO ₂	-17.8%	2,903t-CO ₂

○前年度比較

燃料種別	令和3年度		令和4年度		CO ₂ 増減量 (前年度比) (kg-CO ₂)	CO ₂ 増減率 (前年度比)	令和 12 年度 目標値 (kg-CO ₂)
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)			
ガソリン(ℓ)	48,309.7	112,078.5	45,616.6	105,830.5	-6,248.0	-5.6%	基準年度比 -26%削減
灯油(ℓ)	213,276.3	531,058.0	206,548.7	514,306.3	-16,751.7	-3.2%	
軽油(ℓ)	100,597.2	259,540.8	69,360.6	178,950.3	-80,590.5	-31.1%	
A 重油(ℓ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	
LPG(m ³)	7,256.6	47,530.7	6,923.2	45,347.0	-2,183.7	-4.6%	
電気(kWh)	4,599,603.1	2,387,194.0	4,624,327.5	2,382,156.7	-5,037.3	-0.2%	
合 計		3,337,402.0		3,226,590.8	-110,811.2	-3.3%	2,903,000.0
		3,337.4t-CO ₂		3,226.6t-CO ₂	-110.8t-CO ₂	-3.3%	2,903t-CO ₂

○比較グラフ



《参考》

- ・ガソリン1ℓを使用した場合、2.32 kgの CO₂ を排出します。
- ・基準年度比で 697.0t の CO₂ が削減できましたが、これはガソリン 300,431.0ℓ(200ℓドラム缶 1,502 本)分に相当します。

②地球温暖化対策に関する今後の取り組み

職員一人ひとりが環境配慮の意識を高めて省エネ・省資源に取り組むことは、温室効果ガスの削減だけではなく、行政コストの削減につながることを意識しながら職務にあたります。

今後、次の項目に重点的に取り組みます。

【取組の重点項目】

項 目	電気使用量の削減	冷暖房設備の適正な運用
取組 内容	◆温室効果ガス排出量のエネルギー別割合で約 70%を占める「電気」使用量の重点的な削減を目指します。 ○昼休みや勤務時間外における、業務に支障のない範囲内での照明消灯の徹底 ○OA 機器等不使用時の電源オフやスリープモードの徹底 ・離席時における PC ディスプレイ等の電源オフやスリープモード設定 ・プリンタ、印刷機等常時使用しない機器の節電設定や電源オフの徹底	◆クールビズ・ウォームビズの通年化 職員一人ひとりが気候等に合わせた快適で働きやすい服装を選択することで、冷暖房時の室温管理を一定にし、できるだけ冷暖房運転時間の短縮に努め、電気や燃料使用量の削減を目指します。 ○冷房時の室温は 28℃、暖房時の室温は 19℃を目安に管理する ○施設単位で冷暖房の効率的な運用に努める ○施設や部屋によっては、サーキュレーター等を用いて、風量調節を行うことにより、冷暖房機器の負荷を軽減する
項 目	公用車の効率的な利用・使用回数の節減	省資源・リサイクルに対する取組
取組 内容	◆公務中の移動手段は公用車の利用がほとんどであることから、公用車の使用頻度削減と効率的な利用により、燃料使用量の削減を目指します。 ○出張時や会議等で同一方面に移動する際、相乗りの励行 ○時間に余裕を持った運転による、エコドライブの実践 ○近距離の移動における、徒歩・自転車への切り替え ○会議等をリモート開催で行うことにより、公用車利用回数を減らす ○公用車更新の際は、エコカーの導入を推進する	○ごみの排出抑制及び正しい分別の徹底 ○両面印刷及び内部文書のモノクロコピーの徹底 ○使用済み用紙の裏面再利用の徹底 ○内部文書や会議資料のペーパーレス化の推進 ○事務用品等は環境ラベリング商品（エコマーク、グリーンマーク等）を優先的に購入